

安芸高田からみる 戦争の記憶と

終戦から80年の節目を迎えた今、私たちのまちにも、消えることのない戦争の記憶が刻まれています。本特集では地域で起きたさまざまな出来事を、歴史民俗博物館の企画展「安芸高田と戦争」での展示内容と戦争を体験された方の証言で紹介。戦時中にこのまちが直面した出来事を見つめ直します。

戦時下の主な出来事

西暦	昭和	日本の出来事	高田郡の出来事
1931	6	満州事変	毛利元就墓所前に百万一心碑建立
1932	7	満州国建国／五・一五事件(海軍将校らによる首相暗殺)	吉田小校庭に百万一心碑建立／海軍兵学校生徒、郡山城跡に行軍
1933	8	国際連盟脱退	
1934	9	ワシントン軍縮条約を破棄	
1936	11	二・二六事件(陸軍青年将校のクーデター未遂)	
1937	12	盧溝橋事件(日中戦争始まる)	高田郡内で大量の兵士招集始まる／生桑招魂社が建立
1938	13	国家総動員法公布	
1939	14	国民徴用令実施	可愛村(埃ノ宮神社)に神武天皇聖蹟埃宮顕彰会ができる
1940	15	日独伊三国同盟締結／紀元2600年祝賀行事開催	郡山城跡が国史跡に指定／ 紀元2600年奉祝日本画展、和高節二が文部大臣賞受賞
1941	16	日ソ中立条約締結／真珠湾攻撃(太平洋戦争始まる)	各町域内の各小学校改め国民学校として発足／ 高田郡生活必需品小売商業組合設立
1942	17	金属回収令公布(国民からの金属製品強制回収)／ミッドウェー海戦で日本海軍が大敗	吉田町翼賛壮年団結成、各町も結成／ 金属回収始まり、高田郡内の寺院の釣り鐘も供出
1943	18	ガダルカナル島撤退／アッツ島日本守備隊全滅	吉田病院竣工／広島陸軍被服支廠、小田村下小原に部分移転／ 航空機「百万一心号」、郡民より陸海軍に献納／ 鷹山銅山の操業本格化(終戦まで)
1944	19	学徒勤労令・女子挺身勤労令公布(学生や未婚女性を動員)／ サイパン陥落／米軍の本土空襲本格化／ 神風特別攻撃隊初出撃	満州高田開拓団の入植開始／ 来原村原田でグライダー訓練所開設／ 都市部から高田郡内への集団疎開始まる／ 郡内の木材の強制非常伐採が実施／ 吉田警察署屋上に防空監視哨設置／ 吉田町にゲリラ戦用の高田部隊設置(第13特設警備隊)
1945	20	東京大空襲／沖縄に米軍が上陸／ 広島・長崎に原子爆弾投下／ソ連が対日参戦／ ポツダム宣言受諾／終戦	米軍機、船佐村船木へ爆撃し7人死亡／ 根野飛行場(海軍航空隊司令部基地)建設、上根防空監視哨設置／ 広島陸軍幼年学校が吉田町に疎開／ 高田郡に広島から多くの被爆者が移送、多くが亡くなる／ ソ連軍侵攻により、満州高田開拓団の多くが犠牲

未来への誓い

戦争の記憶

安芸高田市の

地図でみる

市内各地に知られざる戦争の跡が残ります。
地図で俯瞰^{ふかん}して見てみましょう。

グライダー訓練場跡地

高宮町原田

1944年7月、広島第三滑空訓練所が開設。グライダー訓練が集中的に実施されました。

米軍機による被爆地(船佐空爆)

高宮町船佐

1945年5月5日、B29により爆撃(6ページに詳細記事)。

きのこ雲撮影地

美土里町本郷

8月6日、原子爆弾投下から15分後と20分後に住民の織田吾郎氏がここからきのこ雲を撮影。

百万一心碑

吉田町吉田

満州事変が起こった1931年に建立(7ページに詳細記事)。

満州高田開拓団殉難之碑

吉田町吉田

満州で多くが犠牲となった開拓団の慰霊碑(7ページに詳細記事)。

根野飛行場跡地

八千代町下根

海軍特攻隊のために作られた飛行場(6ページに詳細記事)。

上根監視所跡地

八千代町上根

1945年6月、上根峠の個人宅屋上に造られた4㎡余りの防空監視哨。学生らが哨戒に当たりました。

鷹山銅山跡地

向原町有留

戦時下には昼夜問わず採掘が行われた市内最大の鉱山。現在も遺構が残ります(6月号の「歴史紀行」で紹介)。

陸軍被服支廠吉田口作業所跡地

甲田町下小原

1943年7月、広島市にあった軍服・軍靴などの製造所が、旧小田中学校の地に一部疎開しました。

防空監視哨跡地

吉田町吉田

1944年、吉田警察署の屋上に設置された敵機を発見するための監視所。